

〈特別支援教育における通級による指導の推進〉

## 特別支援教育における通級による指導の推進

～通級指導教室の支援の充実と小学校・高等学校との

円滑な引継ぎを目指して～

香取市立佐原中学校

電話 0478-52-5157

FAX 0478-52-5158

香取市立佐原中学校



### 研究のポイント

中学校における発達障害を中心とした通級による指導の充実及び個別の支援計画等をツールとして小学校・高等学校との連携の在り方を検証した。

通級指導教室での指導実践等を特別支援だより(さくらだより)の発行や通級教室教材集としてまとめることができた。また校内研修会等で、通級による指導の実践を発信することで周知及び理解推進に努めることができた。小学校・高等学校等との引継ぎのための方法・ツールとしてチェック表を作成し、支援体制形成のためのツール「ライフサポートファイル」の有効性や支援内容を検証した。

### ■学校の概要 <http://www.katori-edu.jp/sawara-j/>

#### 学校教育目標

基本目標「自ら考え精いっぱい自己実現し、お互いの存在を高め合う生徒の育成」

学校像 ○あいさつを大切に、活力のある学校

○お互いの考えや目標を尊重し、自己表現できる学校

○家庭・地域に信頼され、協力して生徒を育てる学校

本校は県北、利根川下流水郷地帯に位置し、古来早場米の産地として、また北総地域における商業の中心地として栄えてきた。市では「地図のまち・佐原」をテーマに新しいまちづくりに力を入れている。また2016年「佐原の山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録され、郷土芸能部を中心に、祭りの担い手として活躍している。

全校生徒数570名、通常の学級17、特別支援学級2の合計19学級で構成されている。通級指導教室には、自校通級10名に加え、他校からの通級1名の合計11名が、障害による学習上又は生活上の困難を改善し、又は克服するための学習をしている。

### ■研究課題

中学校における発達障害を中心とした通級による指導の実践例を発信し、指導の充実を図る。小学校・高等学校との引き継ぎ等、連携の在り方を明らかにする。

### ■研究の目的と方法

【目的】(1)中学校における発達障害を中心とした通級による指導の実践例を発信する。

(2)個別の支援計画等をもとにした小学校・高等学校との連携の在り方を明らかにする。

【方法】(1)生徒の実態把握から年間計画を作成し検証する。

(2)文献研究や先行研究により通級指導教室での指導実践を収集し、有効性等を検証する。

(3)障害の特性や生徒一人一人に応じて開発した指導実践例を各種研修会(合同研修会・「通級による指導」連絡協議会)等で発信する。

(4)小学校・高等学校との引継ぎのための方法・ツールを検討し、より良い連携の在り方を検証する。

## ■ 研究概要

### (1)年間計画の作成

授業観察、本人・保護者との面談、担任等からの聞き取りをもとに、生徒の学習上又は、生活上の困り感の改善が図れるよう自立活動の年間計画の作成を行った。

### (2)教材作成と特別支援教育だよりの発行

文献研究等により、通級指導教室の実践例を収集し、これをもとに生徒の実態に応じた教材を作成した。また、特別支援だより(さくらだより)を発行し、教職員並びに保護者に実践の様子を伝えた。

### (3)研修会等の開催、活用

生徒・保護者・本校教職員・地域の小・中・高等学校の教職員を対象に教育講演会を実施し、特別支援教育に対する地域全体の共通理解を深めるとともに、小学校・高等学校との連携を図ることができた。

### (4)引継ぎ

市教育委員会や北総教育事務所主催の情報交換会に参加し、小学校・中学校・高等学校との情報交換・連携を図った。

小学校との連携では、事前アンケートを実施し、改善点を考慮し、チェック表をもとにした引継ぎを行った。

高等学校との連携では、高等学校側からの聞き取りに応えることに加え、3年間の指導・支援の具体的方法を伝える資料の引継ぎ方法を考えた。個人情報の問題や各学校種によって指導の重点、気になる点が異なることや個別の指導計画等が作成されていないこともあった。また、個別の指導計画等がある場合でも半期または一年間のみのため、これまでの指導や治療等の経過がわからないことが多くあった。そこで県内で活用が勧められている「ライフサポートファイル」の活用が大変有効であった。

学校間の情報交換では、学校別の「チェック表」が有効であるとの結論を得た。

### 【研究の成果】

- ・学校間の引継ぎ、「チェック表」が有効ではないかとの結論を得た
- ・学校間の引継ぎに「チェック表」を利用する有効性が確認できた
- ・引継ぎには「ライフサポートファイル」が有効であった  
(個人情報の面 指導・医療等の経過 実際の教材等 指導の継続性)
- ・実践の積み上げによって、校内の教材収集・ストックが推進できた

### 【今後の課題】

- ・「〇〇学校(〇〇学科)版チェック表」の作成・評価・修正
- ・「ライフサポートファイル」の活用の啓発
- ・オーダーメイドの教育実現に向けた、パターンメイドのパターンの作成・集積

## 関連資料

- ・通級教室教材例 [http://www.katori-edu.jp/sawara-j/?page\\_id=81](http://www.katori-edu.jp/sawara-j/?page_id=81)
- ・SSTプログラム [http://www.katori-edu.jp/sawara-j/?page\\_id=80](http://www.katori-edu.jp/sawara-j/?page_id=80)